



学校だより

勿来二小

平成 30 年10月19日(金)

第14号

いわき市立勿来第二小学校長

福島県PTA研究大会 喜多方大会

10月14日(日)喜多方プラザで「第66回福島県PTA研究大会喜多方大会」が開催されました。私が参加した分科会では、「元喜多方っ子メディア活用力向上推進委員会委員長」の小島雄一様の講演を聞きました。要旨をご紹介します。

.....

①子どもたちのスマホやタブレットPC、音楽プレーヤー、通信のできるゲーム機の所有率は、喜多方市でさえ86%をこえる。

②これらの「メディア」に触れる時間は、多い子で年間2,200時間(一日5~6時間)にのぼる。

③一日5~6時間もゲームをしていると、「脚力や背筋力が低下する」「コミュニケーション能力の低下から自分の気持ちを出せず、それがストレスを生む⇒キレる、暴れる」等の弊害を生む。

④10歳までの「言語形成期」に、他人との

コミュニケーションを通して言葉を獲得することが大切であるのに、その時期に黙って5~6時間ゲームをすることが良いはずがない。

⑤ゲームを行っているときは、脳の前頭前野を経由せず「反射」によって行っていることが多い。前頭前野の活動がないまま5~6時間生活することが、脳に良いはずがない。

⑥これだけメディアが不可欠になってきた現代、大切なのは「禁止」ではなく、使い方を本人に考えさせ選ばせることである。大人になって学校を離れた時に、続けられることが大切である。

.....

ネットやゲームの時間や頻度を自分でコントロールできず、日常生活に支障が出るような「依存症」が、今、たいへん増えているそうです。便利なものはもちろん利用すべきですが、せっかくの子供の成長の芽を摘むことにならないか、考えるのは大人の役目だと思います。

